

平成28年度

# 事業報告書

社会福祉法人たちばな会

障害福祉サービス事業所たちばな授産所

障害福祉サービス事業所サンステップ

障害福祉サービス事業所すだち

# 目 次

I. 社会福祉法人たちばな会事業報告	3
1. 評議員会	3
2. 理事会	3
3. 評議員選任・解任委員会	4
4. 事業	4
II. 指定障害福祉サービス（多機能型）事業所たちばな授産所事業報告	5
1. 概況	5
2. 生活支援	5
3. 作業活動	7
4. 体育実施状況	10
5. 保健衛生	10
6. 交通安全指導	13
7. 災害防止対策	14
8. 家庭との連携	15
9. 地域交流	15
10. 各種会議	16
11. 職員研修	17
12. 利用者の状況	18
III. 指定障害福祉サービス（多機能型）事業所サンステップ 事業報告	
1. 概況	20
2. 生活支援	20
3. 作業活動	22
4. 体育実施状況	25
5. 保健衛生指導	25
6. 交通安全指導	27
7. 災害防止対策	27
8. 家庭との連携	28
9. 地域交流	29
10. 各種会議	30
11. 職員研修	31
12. 利用者の状況	32
13. 就労移行支援実施状況	33
IV. 指定障害福祉サービス事業所すだち事業報告	34
1. 共同生活住居「いぶき」	34
2. 共同生活住居「すだち」	35
V. 社会福祉法人たちばな会事業報告の附属明細書	36

## I. 社会福祉法人たちばな会 事業報告

社会福祉法人たちばな会定款に基づき、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ地域における自立した日常生活を営むことができる様、多様且つ適正な障害福祉サービスの提供に努めた。

### 1. 評議員会（定例）

#### (1) 第1回 平成28年5月24日（火）

- ・平成27年度社会福祉法人たちばな会事業報告（案）について
- ・平成27年度社会福祉法人たちばな会決算報告（案）について  
（含、監事監査報告）
- ・社会福祉法人たちばな会経理規程の一部改正（案）について
- ・その他 ア、理事長専決事項報告  
イ、その他

#### (2) 第2回 平成28年11月21日（月）

- ・平成28年度事業中間報告（案）について
- ・平成28年度各会計中間報告（案）について
- ・平成28年度会計第1次補正収支予算（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会定款の改正（案）について
- ・評議員選任・解任委員会運営細則（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会役員等報酬規程の制定（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会マイナンバー等取扱規程の制定（案）について
- ・その他 ア、理事長専決事項報告  
イ、施設整備の件  
ウ、すだち実地指導の結果  
エ、その他

#### (3) 第3回 平成29年3月21日（火）

- ・平成28年度事業中間報告（案）について
- ・平成28年度各会計中間報告（案）について
- ・平成28年度各会計第2次補正収支予算（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会職員給与規程の一部改正（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会有期雇用職員給与規程の一部改正（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会経理規程の一部改正（案）について
- ・指定共同生活援助事業所すだち運営規程の一部改正（案）について
- ・平成29年度たちばな会事業計画（案）について
- ・平成29年度社会福祉法人たちばな会当初予算（案）について
- ・社会福祉法人たちばな会理事・監事の選任について
- ・その他 ア、理事長専決事項報告  
イ、社会福祉法人たちばな会定款一部改正の承認について  
ウ、たちばな授産所実地指導の結果について  
エ、その他

### 2. 理事会（定例）

#### (1) 第1回 平成28年5月24日（火）

- ・平成27年度社会福祉法人たちばな会事業報告（案）について
- ・平成27年度社会福祉法人たちばな会決算報告（案）について  
（含、監事監査報告）

- ・社会福祉法人たちばな会経理規程の一部改正（案）について
  - ・その他 ア、理事長専決事項報告  
イ、その他
- (2) 第2回 平成28年11月21日（月）
- ・平成28年度事業中間報告（案）について
  - ・平成28年度各会計中間報告（案）について
  - ・平成28年度会計第1次補正収支予算（案）について
  - ・社会福祉法人たちばな会定款の改正（案）について
  - ・評議員選任・解任委員会運営細則（案）について
  - ・社会福祉法人たちばな会役員等報酬規程の制定（案）について
  - ・社会福祉法人たちばな会マイナンバー等取扱規程の制定（案）について
  - ・その他 ア、理事長専決事項報告  
イ、施設整備の件  
ウ、すだち実地指導の結果  
エ、その他
- (3) 第3回 平成29年3月21日（火）
- ・平成28年度事業中間報告（案）について
  - ・平成28年度各会計中間報告（案）について
  - ・平成28年度各会計第2次補正収支予算（案）について
  - ・社会福祉法人たちばな会職員給与規程の一部改正（案）について
  - ・社会福祉法人たちばな会有期雇用職員給与規程の一部改正（案）について
  - ・社会福祉法人たちばな会経理規程の一部改正（案）について
  - ・指定共同生活援助事業所すだち運営規程の一部改正(案)について
  - ・平成29年度たちばな会事業計画（案）について
  - ・平成29年度社会福祉法人たちばな会当初予算（案）について
  - ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
  - ・新評議員候補者の推薦について
  - ・その他 ア、理事長専決事項報告  
イ、社会福祉法人たちばな会定款一部改正の承認について  
ウ、たちばな授産所実地指導の結果について  
エ、その他

### 3. 評議員選任・解任委員会

#### (1) 第1回 平成29年3月21日（火）

- ・社会福祉法人たちばな会評議員の選任について

### 4. 事業

#### 第2種社会福祉事業

- ・指定障害福祉サービス事業所（多機能型）たちばな授産所の運営
- ・指定障害福祉サービス事業所（多機能型）サンステップの運営
- ・指定障害福祉サービス事業所すだちの運営  
共同生活住居「いぶき」  
共同生活住居「すだち」

## II. 指定障害福祉サービス(多機能型)事業所たちばな授産所 事業報告

### 1. 概況

多機能型事業所として生活介護事業及び就労継続支援B型事業を実施した。

平成28年度の各事業の利用状況は、生活介護(定員20名)では28年3月に2名の入所があり23名でスタートしたが、1名が退所した10月以降は22名の利用となっている。就労継続支援B型(定員20名)では4月に1名の入所があり23名でスタートし、その後10月に1名が一般就労したため22名の利用となった。全体では44名が在籍している。利用者は概ね健康的な生活を送っていて、両事業の年間の出席率は96%と高い。

生産活動状況は、メインの農機・建機用電装部品の組立は持ち直したが、段ボールの組立では大きく減少し、優先調達推進法による官公需(主に除草作業)も若干の伸びに留まったので、全体としても3%程度の減少となった。この結果、利用者に支給した賞与を含む工賃の平均支給額は、生活介護で月額1人当たり13,500円、就労継続支援B型で同24,708円となった。

施設整備の面では、防災・防犯対策としてヘルメット置場の整備や自動火災報知機の更新、国庫補助を受けて防犯カメラの設置を行い、支援サービス面ではパソコン及び関連ソフトの購入・更新、更に省エネ対策としてキュービクル設置工事を実施した。

### 2. 生活支援

作業班を中心として担当制を設け、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を実施した。所生会活動を通して自主性と協調性を培い、各種の行事を通して集団生活のルールを学び、社会適応能力を高めた。

#### (1) 所生会活動

所生会は毎月末の水曜日に行い、月毎に、司会・出席・衛生・ごみ・黒板・所旗・戸締まり・花壇の水やり・炊事・トイレのスリッパを揃える・誕生会のプレゼント・お祝いの言葉等の各係について、利用者の希望をとって分担を決め、積極的に取り組んだ。また、行事等の希望や参加について意見交換をした。

月	活 動 内 容
4	今年度の所生会活動についての話し合い
5	係活動の反省と行事の内容確認
6	係活動の反省と行事の内容確認
7	納涼祭でカラオケに参加する人を希望者の中から選出
8	係活動の反省と行事の内容確認
9	係活動の反省と行事の内容、慰安旅行について確認
10	係活動の反省と行事の内容確認
11	係活動の反省と行事の内容確認
12	係活動の反省と行事の内容確認
1	係活動の反省と行事の内容確認
2	係活動の反省と行事の内容確認
3	一年間の反省と来年度の所生会についての話し合い

## (2) 実施行事

次のとおり、利用者のレクリエーションを中心に行事を実施した。各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし社会性の向上に努めた。

実施日	行事	場所	参加者	内容
4月1日	開所記念式	サンステップ地域交流スペース	利用者 45名	二橋理事長の祝辞、前年度皆勤・精勤者の表彰
4月8日	レクリエーション講座①お花見	新城桜淵公園 奥山方面	利用者 45名	新城桜淵公園の満開の桜を満喫し、奥山方広寺で買い物を楽しんだ
5月2日	ハイキング	愛知県民の森	利用者 42名	グループごとにコースを決めて森林浴を楽しむ
5月24日	ふれあいコンサート	なゆた浜北	利用者 46名 保護者 15名	浜北ライオンズ様主催のコンサートに参加 リズムダンスを披露
5月27日	レクリエーション講座①ミニコンサート	サンステップ地域交流スペース	利用者 46名	美菌フレンドリーコーラスの方々による「ミニコンサート」を楽しむ
6月15日	レクリエーション講座②障害者スポーツ	サンステップ地域交流スペース	利用者 45名	静岡県障害者スポーツ協会のスポーツ巡回指導を利用して、フライングディスクとボッチャを楽しむ
6月24日	浜北合同スポーツ交流会	浜北グリーンアリーナ	利用者 45名 保護者 19名	浜北区内の7施設の交流の場、協調性を養う場とし積極的に取り組む
7月7日	七夕会	当所	利用者 43名	願い事を書いた短冊や七夕飾りを笹につけて飾る
7月29日	レクリエーション講座③笑いヨガ	サンステップ地域交流スペース	利用者 46名 保護者 2名	平野邦彦氏を講師に招いて、笑いヨガを楽しむ
8月6日	納涼祭	当所	利用者 42名 来賓外 37名 保護者 34名	地域との交流行事 カラオケ、踊り、模擬店、ライブ演奏等に、来賓や近隣の人等が大勢参加して盛大に実施
9月1日	総合防災訓練	当所	利用者 41名	警戒宣言発令を想定し、連絡網による情報伝達訓練を実施
9月23日	レクリエーション講座⑤ミニコンサート	サンステップ地域交流スペース	利用者 46名	美菌フレンドリーコーラスのコンサートを共に楽しむ
9月24日	鉄板焼き大会	日本ロック本社	利用者 40名 保護者 22名	日本ロック様の招待行事
9月29～30日	慰安旅行	松本、高山方面	利用者 40名 保護者 21名	松本城、安曇野ワイナリーを経て新平湯温泉泊、翌日上高地を散策し飛騨高山ラーメン工場を見学・昼食、高山の街並みを散策した。
11月11日	レクリエーション講座⑥笑いヨガ	サンステップ地域交流スペース	利用者 44名 保護者 3名	平野邦彦氏を講師に招いて、笑いヨガを楽しむ
11月13日	ふれあい広場	浜北グリーンアリーナ	利用者 39名 保護者 25名	保護者の協力を得て物品の販売
11月25日	収穫祭	当所	利用者 44名	クリスマス飾り作り、カラオケやビンゴゲームを行い、収穫したお芋のおやつと手作り昼食
12月16日	もちつき大会	当所	利用者 42名 保護者 29名	サンステップとの合同行事 利用者が餅つきを体験し、保護者と共につきたての餅と豚汁を味わった

12月23日	クリスマス会	当 所	利用者 43 名	絵馬を手作りし、年賀状を書き、手作りの昼食を食べて楽しい時間を過ごす
12月28日	慰労会	当 所	利用者 41 名	1年間の労をねぎらい、ゲーム等を楽しんだ後昼食
1月5日	新年会	当 所	利用者 43 名	仕事始めの式 作業後の昼食は各自が選んだお祝い弁当
1月9日	成人の祝い	当 所	利用者 43 名	新成人1名のお祝い
1月11日	鏡開き	当 所	利用者 41 名	お汁粉を頂く
2月3日	豆まき会	当 所	利用者 42 名	簡単なゲームを行った後、年男・年女の利用者に豆まきをしてもらい、一年の邪気払いと無病息災を祈った
3月10日	イチゴ狩り	ブラウンクルー	利用者 43 名	「大河ドラマ館」を見学し、浜名湖ガーデンパークで昼食後、東区のイチゴ農園『ブラウンクルー』にてイチゴを食べた

### 3. 作業活動

協力企業から受託した作業を生活介護、就労継続支援B型の作業班で分担、生産した。

各班とも取引業者との信頼関係の強化に努め、治工具の改良考案、作業方法の改善、作業室の整備等によって生産性の向上も図りつつ、各事業の特色を出せるように配慮した。

生活介護班では作業を簡単な工程に分け利用者を各自の特性や相性を考えて作業室、場所を配置することで、利用者が落ち着いて過ごせるようにした。また、作業時間を短くし余暇支援を取り入れ、メリハリの利いた日常生活を送れるように支援した。

就労継続支援B型班は福祉的就労の場として5Sに取り組み、工賃アップを目指し、農機具や建機の部品組み立ての他にもダンボールの組立て作業や障害者優先調達推進法による官公需の積極的な受注に努めた。また、就労支援面では10月に女子1名が一般就労した。

#### (1) 作業分担と作業種目

品質を確保するために、担当する職員・利用者の異動をできるだけ少なくして作業班体制を組んだ。また、優先調達推進法による除草作業やダンボールの組立作業は班の枠を超えた取り組みを行った。

##### ア、生活介護

生産高 (単位：円)

班	利用者数	作 業 種 目	(月平均)
D	22	ミラーマット、ビニールシートの分別	31, 112
E		就労継続B型の前工程、ターミナル入れ	149, 179
F		ダンボールの組立・パッキン入れ	225, 176
G		紙漉き・クッキーの販売他	39, 509

##### イ、就労継続支援B

生産高 (単位：円)

班	利用者数	作 業 種 目	(月平均)
A	6	オイルゲージ組立、自動車エアコンスイッチ組立	138, 278
B	6	配電盤端子組立、ルームランプの組立他	179, 715
C	6	自動車エアコンスイッチ組立	88, 393
H	4	農機具シーソースイッチ組立、配電盤端子組立	108, 110
ABCH	17	除草作業、印刷他、ダンボールの組立等	601, 244

## (2) 生産活動業者別収入状況

## ア、生活介護

(単位：円)

月	日本ロック	山 宗	ジェイレックス	紙漉き	クッキー他	合 計
4	176,585	34,650	192,748	4,500	43,596	452,079
5	108,645	36,900	166,205	13,300	24,500	349,549
6	112,751	38,250	150,970	31,700	51,434	385,105
7	126,285	39,450	180,002	23,300	66,037	435,074
8	201,816	33,300	182,902	0	53,662	471,680
9	153,160	30,150	132,677	7,000	54,265	377,252
10	179,409	36,900	138,529	14,700	62,152	431,700
11	131,985	25,200	208,354	12,117	60,750	438,406
12	127,290	24,300	268,571	72,800	55,890	548,851
1	140,188	14,400	169,499	36,000	34,500	394,587
2	154,360	26,550	160,202	4,100	50,809	396,021
3	177,679	33,300	191,581	189,562	67,302	659,424
合計	1,790,153	373,350	2,142,240	409,079	624,907	5,339,729

## イ、就労継続支援B

(単位：円)

月	日本ロック	ジェイレックス	除草作業	その他	印刷	合 計
4	736,089	82,606	6,480		1,512	826,687
5	424,640	71,231	0		12,636	508,507
6	616,559	64,702	0		15,660	696,921
7	571,978	77,144	308,797		46,332	1,004,251
8	498,996	78,387	702,714		60,264	1,340,361
9	474,944	56,862	35,640		9,612	577,058
10	454,289	39,571	49,680		165,369	708,909
11	439,667		749,910		118,600	1,308,177
12	393,402		408,240		228,334	1,029,976
1	460,486		3,341,675		86,869	3,889,030
2	561,699		27,547	170,099	43,793	803,138
3	616,767		22,524		132,142	771,433
合計	6,035,669	470,502	5,653,207	170,099	921,123	13,250,600

## (3) 月別作業収入と工賃支給状況

## ア. 生活介護

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	452,079	253,000	14,690	8,120	11,000	22	77.3
	5	349,549	253,000	13,780	8,150	11,000	20	71.0
	6	385,105	253,000	14,090	8,160	11,000	22	82.1
	7	435,074	253,000	14,000	8,240	11,000	21	83.8
	8	471,680	253,000	13,860	8,250	11,000	21	80.8
	9	377,252	253,000	13,940	8,440	11,000	22	79.6
	10	431,700	253,000	13,920	8,260	11,000	22	83.0
	11	438,406	242,000	14,160	8,200	11,000	22	82.0
	12	548,851	242,000	13,860	8,340	11,000	20	73.0
	1	394,587	242,000	13,940	8,300	11,000	20	78.0
	2	396,021	242,000	14,030	8,020	11,000	20	77.7
	3	659,424	242,000	14,130	7,950	11,000	23	96.1
小計	5,339,729	2,981,000				255	964.4	
	8		賞与 230,000	15,000	6,300	10,000		
	12		賞与 220,000	14,400	7,700	10,000		
	3		一時金 220,000	14,000	7,500	10,000		
	小計		670,000					
合 計			3,651,000			162,000	255	964.4

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は162,000円、月額割では平均13,500円であった。

## イ. 就労継続支援B型

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	826,687	483,010	35,520	13,170	21,000	22	94.4
	5	508,507	483,010	37,640	12,910	21,000	20	78.0
	6	696,921	483,000	36,990	12,840	21,000	22	99.0
	7	1,004,251	483,000	37,180	13,040	21,000	21	87.8
	8	1,340,361	483,000	35,420	12,870	21,000	21	84.1
	9	577,058	483,000	35,030	13,040	21,000	22	86.9
	10	708,909	483,000	25,600	13,990	21,000	22	95.2
	11	1,308,177	462,000	25,220	13,400	21,000	22	91.9
	12	1,029,976	462,000	25,880	6,000	21,000	20	80.8
	1	3,889,030	550,000	32,830	12,570	25,000	20	86.1
	2	803,138	550,000	32,970	7,630	25,000	20	89.7
	3	771,433	550,000	31,640	13,930	25,000	23	105.3
小計	13,250,600	5,955,020				255	1079.2	
	8		賞与 230,000	23,800	2,500	10,000		
	12		賞与 220,000	14,000	2,900	10,000		
	3		一時金 275,000	18,100	3,100	12,500		
	小計		725,000					
合 計			6,680,020			296,500	255	1079.2

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は296,500円、月額割では平均24,708円であった。

## (4) 就労支援会計収支状況

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
1. 利用者工賃等配分額	10,331,020	1. 就労支援事業収入	19,862,770
(1) 利用者工賃	8,936,020	(1) 受託収入	11,371,789
(2) 利用者賞与	1,395,000	(2) 印刷収入	921,123
		(3) 紙すき収入	409,079
2. 必要経費	9,527,435	(4) その他事業収入	7,160,779
3. 積立金積立	0		
(1) 設備等整備積立金	0		
(2) 工賃変動積立預金	0		
4. 次年度繰越金	4,315		
合 計	19,862,770	合 計	19,862,770

## (5) 配分率、経费率及び繰越率

(単位：円、%)

総収入	利用者工賃等配分額	必要経費	次年度繰越金	配分率	経费率
19,862,770	10,331,020	9,527,435	4,315	52.01	47.97

## 4. 体育実施状況

利用者の健康な生活を維持し、体力の維持と強化のために朝礼終了時の体操や、作業中のストレッチ、定時のジョギング及び体育的行事（野外スポーツ、水泳）を実施した。

## (1) 体力作りとストレッチ

項 目	日 時	内 容
ラジオ体操	8:40～8:45 (毎朝)	ラジオ体操第一を始業前の準備運動を兼ねて全員で行った。
ストレッチ (業間体操)	10:25～10:30 (毎日)	それぞれの作業の持ち場で作業の間の体操として手・足・首・腰・胴を中心にしたストレッチを実施した。
体 操	14:15～15:00 (生) 15:15～15:45 (B) (月～金)	生活介護の利用者と継続支援B型の利用者に分かれ、それぞれの心身の状況に合わせた体力づくり（ジョギングや歩行訓練）を実施した。また、雨天時は訓練棟でストレッチやリズムダンスを行った。

## (2) 体育的行事

項 目	日 時	内 容
野外スポーツ	13:00～15:30	マイクロバスで森林公園まで移動し体力別に3班に分けウォーキングや散策を実施した。お天気に恵まれて、4.5.6.9.10.11.12.2.3月の全9回実施できた。

## (3) 生活介護支援

項 目	日 時	内 容
スペースタイム	15:15～15:45 (月～金)	生活介護事業では、壁紙制作・レクリエーション・リズムダンスなどを行い、利用者さんの心身の安定を図るための時間としてスペースタイムを実施した。

## 5. 保健衛生

## (1) 健康管理

毎月、身長・体重・血圧・体脂肪の測定を実施して日常の健康管理の目安とし、昼食後

の歯磨き、作業後のうがい・手洗いを毎日の習慣とした。

定期健康診断は春に血液・尿検査、秋にX線・尿検査を実施し、嘱託医による内科検診を年3回行い、歯の健康センターによる歯科健康診査を1回実施した。保護者には健診結果を通知し、結果に異常のあった利用者には、掛かりつけの医師による再診を助言した。

看護師によるナース便りの発行により利用者・保護者へ健康管理や感染症予防等の啓発に努めた。

#### ア、健診実施状況

区 分	実施日	人数	内 容
血液検査	4月6日	45人	貧血、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸
尿検査	4月6日 10月5日	45人 45人	蛋白、糖、潜血
X線検査	9月13日	44人	胸部X線間接撮影
嘱託医による内科検診	4月20日 8月24日 12月7日	45人 44人 42人	問診、聴打診、血圧
歯科健診	10月20日	43人	浜松市による施設歯科健康診査

#### イ、健康診断結果（重複あり、単位：人）

区 分	男	女	計
血球計数	10	1	11
糖代謝	1	0	1
肝機能検査	4	3	7
脂質代謝	10	6	16
腎機能	0	1	1
尿定性検査	2	0	2
計	27	11	38

#### (2) 衛生指導

利用者、職員全員で、毎日終業前の15分間で所内全般の清掃を実施し、衛生的な環境保持に努めた。また、作業後やトイレ使用后及び給食前に手洗いを励行し、毎日の習慣とするよう心掛けた。

#### (3) 感染症予防

##### ア、インフルエンザ対策の実施

インフルエンザ対策として、登所時の手・指の消毒と検温を実施した。

希望する利用者へ予防接種を行った。

##### イ、ノロウイルス等の感染症予防対策の実施

支援部会で、感染の仕組みや手洗いの手順等具体的な処置方法の確認と応急処理キットの使い方と場所の確認をした。

#### (4) ナース便りの発行

実施日	内 容
4月28日	メタボリックシンドロームについて
5月19日	動脈硬化について
6月14日	梅雨時期の過ごし方
7月14日	熱中症予防について
8月10日	暑さ対策について、秋の健診日程について

9月7日	体調管理について、秋の健康診断のお知らせ
10月7日	歯科健診事前アンケート
11月11日	風邪予防のポイント
12月22日	インフルエンザについて（正しい体温の測り方）
1月11日	インフルエンザ・ノロウイルス感染予防対策についてのお願い
2月16日	花粉症対策について
3月3日	耳を大切にしよう

(5) 出欠状況

出欠状況は利用者の心身の状況のバロメーターであり、データを取りながら家庭と協力して出席率を高めるよう努めた。

ア、月別出欠状況

【生活介護】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延べ日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	23	22	506	14	492	97.23
5	23	20	460	12	448	97.39
6	23	22	506	21	485	95.85
7	23	21	483	17	466	96.48
8	23	21	483	14	469	97.10
9	23	22	506	29	477	94.27
10	23	22	490	14	476	97.14
11	22	22	484	15	469	96.90
12	22	20	440	11	429	97.50
1	22	20	440	15	425	96.59
2	22	20	440	19	421	95.68
3	22	23	506	14	492	97.23
計	271	255	5,744	195	5,549	96.61

(注)10月は中途退所者により出席日数に計算上の差異がある

【就労継続支援B型】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延べ日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	23	22	506	14	492	97.23
5	23	20	460	13	447	97.17
6	23	22	506	12	494	97.63
7	23	21	483	9	474	98.14
8	23	21	483	14	469	97.10
9	23	22	506	18	488	96.44
10	23	22	495	15	480	96.97
11	22	22	484	10	474	97.93
12	22	20	440	24	416	94.55
1	22	20	440	21	419	95.23
2	22	20	440	23	417	94.77
3	22	23	506	7	499	98.62
計	271	255	5,749	180	5,569	96.87

(注)10月は中途退所者により出席日数に計算上の差異がある

イ、月別皆勤者の状況

年間を通じての皆勤者（無欠席・無遅刻・無早退）は男女各1名、精勤者（欠席、遅刻、早退合わせて3回以内）は男子12名、女子2名の計14名であった。

## 【生活介護】

(単位:人、%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)
4	23	14	60.87	10	23	13	56.52
5	23	14	60.87	11	22	14	63.64
6	23	17	73.91	12	22	16	72.73
7	23	16	69.57	1	22	14	63.64
8	23	14	60.87	2	22	15	68.18
9	23	12	52.17	3	22	17	77.27
				平均	22.58	14.67	64.94

## 【就労継続支援B】

(単位:人、%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)
4	23	16	69.57	10	23	19	82.61
5	23	18	78.26	11	22	18	81.82
6	23	20	86.96	12	22	18	81.82
7	23	18	78.26	1	22	16	72.73
8	23	16	69.57	2	22	18	81.82
9	23	19	82.61	3	22	16	72.73
				平均	22.58	17.67	78.23

## 6. 交通安全指導

年間3回の実施のうち、1回は生活協同組合ユーコープが実施する「おうちCO-OP交通安全教室」に参画・開催し、1回は交通安全指導員の派遣を受けて実施することとした。職員が指導するよりも、交通安全指導に実績がある外部機関の協力を得ることによって、より効果が見込まれる。

実施日	指導者	内 容
4月30日	当所職員	施設での車両使用時にシートベルトを着用する必要があることから、利用者に対してシートベルト着用の必要性を解説するビデオの視聴と、マイクロバスを使用したシートベルトの着用訓練を行った。
8月12日	ユーコープ 交通安全指導 担当社員	昨年度に引き続き、生活協同組合ユーコープによる「おうちCO-OP交通安全教室」を開催した。 内容的には実際の配送トラックを使用した死角確認と、チャイルドシートを使用しているシートベルト着用の必要性を解説するものであった。
12月27日	交通安全指導員 警察官	交通安全指導員と警察官を招き、パネルを使用している道路歩行・横断、信号機の見方等の基本を確認した後、ビデオを視聴して歩行者と自転車の道路上での注意点を確認した。また、警察官による実際に事故にあったときの対応についての講話は、今までに指導してなかった点であった。最後に、浜北区役所まちづくり推進課より自発光式反射材を無償提供していただき、登下所時に着用するよう促した。

## 7. 災害防止対策

火災と地震の訓練を主に、3月には大雨や洪水等非常災害の発生を想定した防災訓練を実施した。地域防災訓練への家族での参加呼びかけ等も行い防災指導に努めた。また、常に防災設備の自主点検を実施し、防災組織、緊急連絡網の確認を行い、連絡網を使った連絡訓練も随時実施した。月別の防災訓練の実施状況は次表のとおりである。

### 【防災訓練実施状況】

実施日	訓練種目	災害発生 of 想定及び対応						
		参加人数	時刻	火点	状況	避難経路・手順等	留意点	
4月27日	火災通報	利用者 職員 その他	12	17:10		利用者帰宅後、各職員の受け持ち部所より出火したことを想定し、「火災発生」の発声及び所長への報告通報訓練を実施した。一斉放送による避難誘導の指示の確認と消火班の行動を確認した。		
5月26日	地震避難	利用者 職員 その他	46 12 0	13:02		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。揺れが収まってから外へ避難した。	効果音が地震と理解させる。効果音がなっている間は動かないようにする。
6月22日	火災避難 消火	利用者 職員 その他	40 10 3	11:40	第1作業室	作業中に半田ごとが倒れてアルコールに引火。	火災発生を大きな声で知らせ、火点から離れた非常口から避難する	職員の指示が的確か、避難経路を確認する。水消火器により消火訓練実施
7月12日	地震避難	利用者 職員 その他	46 11 3	11:50		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠し、揺れが収まってから指示に従って避難	落下物や転倒危険箇所のチェックをおこなう 歩行困難者の介助
8月24日	火災避難 消火	職員 寮生 保護者	17 8 0	19:00	[すだち] [いぶき]	ガス漏れにより出火	寮生を各部屋より避難させた。火災発生の際は職員連絡網を使って行い、関係職員を招集した。	避難経路の確認。 職員連絡網の確認と通報・連絡の確認。消火器の使い方の確認。
9月1日	総合防災訓練	利用者 職員 その他	39 12 34	8:50		予知情報のない突発的な大規模地震発生	保護者会連絡網を使って警戒宣言発令時情報伝達訓練と保護者引渡し訓練を実施した。地震時の避難訓練あり	8月28日に浜松市総合防災訓練における情報伝達訓練に参加した。
10月26日	火災消火 避難	利用者 職員 その他	39 14 1	11:30	就労作業棟	ライターの火が紙に引火し出火 発煙筒使用	火点から離れた非常口より避難した。	電源が切られたか、窓が鍵を掛けずに閉められたかを確認。
11月1日	地震火災通報 避難	利用者 職員 その他	44 10 1	10:00	厨房	休憩時間中に地震が発生し、厨房より出火	安全な場所に身を伏し地震の収まるのを待って落下物に注意し、非常口から避難 119番通報は太田支援員が行った。	社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と召集時間の確認。
11月4日	火災避難 通報 消火	利用者 職員 保護者	4 4 3	18:30	いぶき	ガス漏れによる出火	各部屋より避難。連絡網で職員・保護者へ連絡招集した。保護者と地震発生時の対応を確認した。119番通報は世話人が行った。	社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と召集時間の確認。地震の注意・予知情報・警戒宣言発令時の対応の確認。水消火器を使った消火訓練実施
11月5日	火災避難 通報 消火	利用者 職員 保護者	4 4 3	19:00	すだち			
12月26日	火災避難 消火	利用者 職員 その他	43 12 1	12:55	食堂	食堂のコンセントより出火。発煙筒使用	火点を避け施設東側より避難するよう指導した。抜き打ちで実施	予知なしに実施。避難経路の的確な指示を出す。火点に近寄させない。第1次避難場所をサンステップに変更
1月17日	地震避難	利用者 職員 その他	43 12 0	13:15		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。	人員点呼で返事をしっかりさせる。地震鎮静後に避難する。落下物を意識させる。
2月27日	地震避難	利用者 職員 その他	42 12 0	8:55		朝の会の時に地震が発生	天井の蛍光灯や窓ガラスの下を避けて身を伏せるようにした。	訓練棟での集合時に発生したため、歩行困難者やパニックになりやすい人が混乱しないように注意する。
3月27日	大雨避難	利用者 職員 保護者	41 12 37	13:20		浜松市から大雨による避難準備情報(高齢者等避難開始)が発令	荷物をまとめて、帰宅準備を行い、食堂で待機。保護者会連絡網を使って迎えを要請。	保護者会連絡網を使って、引き渡し訓練を実施。連絡網の確認。落ち着いた行動をとる

## 8. 家庭との連携

家庭との連携を密にするため、次のとおり事業を実施した。保護者と相互に連絡を取り合っ  
て利用者の支援にあたるよう努めた。

項 目	期 間	内 容
個別面談	随 時	状況に応じ随時個別に面談し、相談にのるよう努めた。
モニタリング	生活介護 9,3月 就労継続(B) 9,3月	個別に時間設定をし、保護者同席により個別支援計画に基づいた目標を評価し、必要に応じて見直し又は、変更を実施し、施設での作業や生活の様子、また家庭生活等の情報交換も行った。
連絡帳	随 時	連絡帳により、家庭との連絡を密にするよう努めた。
授産所通信等	毎月1回 他 随 時	「授産所通信」を発行し、月の予定等を伝えた。行事や会合等の事務連絡を随時行った。
保護者会		4月は総会を行い、5、7、9、11、1、3月に定例役員会を4月に臨時役員会を実施した。その他、授産所行事への協力として8月に納涼祭(34名)、9月に慰安旅行(21名)、12月にもちつき大会・大掃除(29名)の外、ふれあいコンサートや、スポーツ大会等へも参加した。

## 9. 地域交流

### (1) ボランティアの受け入れ

#### ア、絵手紙教室

サンステップ地域交流スペースの事業として、「絵手紙の町浜松」を育てる会代表の太田浩一様を講師に招いて絵手紙教室を実施し

月	回数	延べ人数	参加者(講師)	
5	1	2名	「絵手紙の町浜松」を育てる会	野菜をかく
6	1	2名	「絵手紙の町浜松」を育てる会	梅雨見舞いをかく
9	1	2名	「絵手紙の町浜松」を育てる会	秋の花をかく
10	1	2名	「絵手紙の町浜松」を育てる会	秋の果物をかく
2	1	2名	「絵手紙の町浜松」を育てる会	ひな祭りをかく
計	5	10名		

※講師は有償ボランティア

### (2) 実習生徒の受け入れ

実 施 期 間	学 校 名	参 加 者	人 数
6月20日～6月22日の3日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1名
6月27日～6月30日の3日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	2名
7月4日～7月6日の3日間	県立浜松特別支援学校	高等部2年	2名
11月30日～12月2日の3日間	県立天竜特別支援学校	高等部1年	1名
1月25日～1月27日の3日間	県立浜北特別支援学校	高等部1年	1名
2月6日～2月9日の3日間	県立浜北特別支援学校	高等部1年	1名

### (3) 体験実習

#### ア、実習

実 習 期 間	対 象 者	内 容	人 数
9月27日	就労継続支援B型希望者	作業実習	1名

(4) 作業実習の受け入れ

担任の引率によって、下記の発達支援学級の生徒の作業実習を受け入れた。

ア、浜松市立浜北北部中学校発達支援学級生徒

月	回数	延べ人数	内 容
7	2	11 人	電装部品の組立
10	2	10 人	〃
11	2	10 人	〃
	6	31 人	

イ、浜松市立西部中学校発達支援学級生徒

月	回数	延べ人数	内 容
6	3	10 人	電装部品の組立
	3	10 人	

(5) 体験学習等の受け入れ

総合的な学習の時間における体験学習の場として受け入れた。

職場体験学習

期 間	学 校 名	延べ人数	内 容
9 月 14、15 日	浜松市立八幡中学校発達支援学級	6 名	作業実習
10 月 18、19 日	浜松市立北浜中学校発達支援学級	2 名	作業実習
10 月 20、21 日	浜松市立南部中学校発達支援学級	2 名	作業補助
11 月 22、24 日	浜松市立三方原中学校発達支援学級	8 名	作業実習
12 月 12、14 日	浜北特別支援学校中等部	6 名	作業実習

(6) 単位実習、職員研修等の受け入れ

ア、社会福祉援助技術現場実習

実 施 期 間	学 校 名	人 数
7 月 4 日～ 7 月 19 日	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2 年生 1 名
7 月 21 日～ 8 月 5 日	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2 年生 1 名
8 月 22 日～ 9 月 6 日	浜松学院大学子どもコミュニケーション学科	4 年生 1 名

(7) 地域奉仕活動

12 月 9 日の障害者の日にちなみ、近隣の環境整備に協力して奉仕作業を実施した。

実 施 日	事 業 名	参 加 者	内 容
12 月 9 日	地域奉仕活動	利用者 43 名 職 員 10 名	金原用水沿いの除草及び施設南側の市道の除草作業を実施した。

1 0. 各種会議

所内会議を下記のとおり実施した。

会 議	実 施 (曜) 日	会 議	実 施 (曜) 日
職員打ち合わせ会	毎朝	支援部会議	第四以外の水曜日
職員会議	第四水曜日	ケース会議	第四以外の水曜日

## 1.1. 職員研修

以下の研修に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月18日	監事監査研修会	静岡市	静岡県社会福祉協議会 県社会福祉法人経営者協議会	理事長1 他3名
5月18日	西部施設連絡会5月研修会	浜松市	西部施設連絡会	支援員1
6月3日	社福法人指導監査実施説明会	浜松市	浜松市	支援員1
6月15日	県経営協 総会・経営セミナー	静岡市	県社会福祉法人経営者協議会	理事長1
6月16日	児童・障害部会施設長会	浜松市	浜松市社会福祉施設協議会	施設長1
6月16日	西部施設連絡会6月研修会	藤枝市	西部施設連絡会	支援員1
6月23～24日	全国知的障害関係施設長等会議	横浜市	日本知的障害者福祉協会	サビ管1
7月19,25日	施設事務職員経理応用講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
8月1,3,17日	音楽療法講座	静岡市	県知的障害者福祉協会	支援員1
8月17日	障害部会 行政との連絡会	浜松市	浜松市社会福祉施設協議会	施設長1
8月25日	安全運転管理者講習会	浜松市	安全運転管理協会	支援員1
8月27日	「就労を考える」サミット2016	静岡市	県社会就労センター	施設長1
9月13日	西部施設連絡会9月研修会	磐田市	西部施設連絡会	支援員1
9月15～16日	東海地区知的障害関係施設長研修	沼津市	日本知的障害者福祉協会	施設長1
9月16日	「まるさら出世プロジェクト」セミナー	浜松市	浜松市	支援員1
9月25日	発達医療講演会「野田聖子氏」	浜松市	浜松市社会福祉事業団	サビ管1
9月27日	マイナンバー講習	浜松市	県西部地区労務管理推進者連絡協議会	支援員1
10月5日	授産製品コンクール	静岡市	オールしずおか	支援員1
10月20～21日	県知協生産活動・就労支援部会研修集会	藤枝市	県知的障害者福祉協会	施設長1 支援員1
11月2日	改正育児・介護休業法等説明会	静岡市	厚生労働省	支援員1
11月4日	明和会創立50周年記念式典	袋井市	明和会	施設長1
11月11日	安全運転協会研修会	浜松市	安全運転管理協会	支援員1
11月14日	就労支援事業経理特別講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
11月16日	浜松市教育研究会研修	浜松市	浜松市教育研究会	支援員1
11月22日	就労事業所視察研修	恵那市	県知的障害者福祉協会	支援員1
11月24日	西部施設連絡会11月研修会	焼津市	西部施設連絡会	施設長1 支援員1
11月25日	年末調整セミナー	東京	応研(株)東京本社	支援員1
11月27日	高齢者・障害者虐待防止講演会	浜松市	浜松市	支援員2
11月28日	社会福祉法人制度改革対応セミナー	静岡市	県社会福祉法人経営者協議会	
2月4日	県障がい者スポーツフォーラム	静岡市	県障害者スポーツ指導者協議会	支援員1
2月10～11日	社会福祉士実習指導者講習会	静岡市	日本社会福祉士会	支援員1
2月15日	決算実務講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
2月23～24日	全国社会就労センター長研修会	横浜市	全国社会就労センター	施設長1
3月2日	社会福祉施設運営管理研修会	静岡市	県社会福祉協議会	施設長1 支援員1
3月4日	浜北フォーラム	浜松市	浜北フォーラム実行委員会	サビ管1
3月15日	事業者説明会	浜松市	浜松市	支援員1
3月18日	世界自閉症啓発デー2017	浜松市	県自閉症協会	支援員1

## 1 2. 利用者の状況

### (1) 入退所状況 (H28/4.1~H29/3.31)

(在籍人数は月末現在、単位:人)

区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
現員	男	31	31	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30
	女	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14
在籍	計	46	46	46	46	46	46	44	44	44	44	44	44

- (註) ・28年4月に男子1名がサンステップから就労継続支援B型に移動  
 ・28年10月に女子1名が就労により、男子1名が介護施設利用のため退所  
 ・29年3月に女子1名が介護施設利用のため退所したが、末日まで在籍したので減数処理をしていない

### (2) 利用者の年齢

平成29年3月31日現在、単位:人

年 令	男 子	女 子	計
15～19歳	1	1	2
20～29歳	9	7	16
30～39歳	8	1	9
40～49歳	9	3	12
50歳以上	3	2	5
計	30	14	44

平均年齢 男子 35.85歳 女子 34.77歳 全体 35.51歳

### (3) 入所期間

平成29年3月31日現在、単位:人

期 間	男	女	計
1年未満	1	0	1
1年以上～3年未満	4	4	8
3年以上～5年未満	6	3	9
5年以上～7年未満	0	0	0
7年以上～9年未満	2	0	2
9年以上～11年未満	4	2	6
11年以上～13年未満	1	0	1
13年以上～15年未満	3	1	4
15年以上～17年未満	0	0	0
17年以上～19年未満	2	1	3
19年以上～21年未満	0	0	0
21年以上	7	3	10
計	30	14	44

平均入所期間 男子 13.6年 女子 12.9年 全体 13.4年

## (4) 入所直前の状況 (単位:人)

区 分	男	女	計
特別支援学校等	20	8	28
作業学級、作業所等		1	1
児童、成人施設	5	3	8
就労、家業の手伝い、在宅	5	2	7
計	30	14	44

(註)就職経験者は、男子5人 女子1人 計6人である。

## (5) 通所方法 (単位:人)

区 分	通所バス	電 車	自転車	バス	徒 歩	自家用車	計
男	7	10	0	4	4	10	35
女	5	5	1	0	0	4	15
計	12	15	1	4	4	14	50

(註)重複利用者を含む

## (6) 手帳の所持

## ア 療育手帳

(単位:人)

区 分	A	B	なし	計
男 子	21	9		30
女 子	11	3		14
計	32	12		44

## イ 身体障害者手帳

(単位:人)

区 分	1級	2級	3級	4級	6級	計
男 子		1	2		1	4
女 子			1	1		2
計		1	3	1	1	6

## ウ 障害福祉サービス受給者証

(単位:人)

区 分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男 子	3	0	3	10	9	5	0	30
女 子	2	0	2	3	6	1	0	14
計	5	0	5	13	15	6	0	44

## (7) 心身障害の併有状況

(単位:人)

区 分	男 子	女 子	計
四肢体幹機能に問題のある人	4	2	6
てんかん治療を受けている人	7	3	10
現在精神神経科に通院し投薬を受けている人	7	2	9
情緒不安定・その他特異な行動のある人	3	3	6
自閉症(自閉症 <sup>※</sup> ・トラウマ障害)の診断がある人	9	4	13
言語に問題のある人	15	8	23
視力に問題のある人	6	6	12
聴力に問題のある人	1	0	1
ダウン症	5	3	8
計	57	31	88

(註)重複障害を含む

### Ⅲ. 指定障害福祉サービス(多機能型)事業所サステップ 事業報告

#### 1. 概況

多機能型事業所として就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業を実施しているが、平成28年度も、両事業とも概ね年度当初の計画通りの運営ができた。

利用状況は、就労移行支援(定員10名)は、中途退所者が1名あるものの5名が、就労継続支援B型(定員25名)は27名が利用し、インフルエンザの集団発生や不慮の事故等もなく元気に施設の日課をこなしていて、家庭の事情による欠席者を除けば出席率は98%を超えている。

生産活動状況については、作業単価の見直しの影響で収入が減少した昨年度を反省し、自動車或は農機具関連の部品組立てに固執することなく、クリスマスやバレンタインディ等の関連商品の箱詰め作業等を増やしたことで、就労移行支援は約325万円で昨年度比39%増となった。就労継続支援B型については約1,125万円で昨年度比2%の微減ではあるが、ガスメーター関連の作業を行う会社との取引が年度後半から始まったので今後は期待できる。この結果、両事業ともに利用者一人月平均で24,750円の工賃を支給できた。

また、就労移行支援で一般企業への就職実績0という結果に終わった点については、当該事業の利用希望者の確保に苦勞している現状からみて、将来的にも楽観視できない。

施設整備面では、防災・防犯策として国庫補助を受けて防犯カメラを設置し、夜間警備を警備会社に委託した。

#### 2. 生活支援

作業班を中心として担当制を設け、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を実施した。所生会活動を通して自主性と協調性を培い、各種の行事を通して集団生活のルールを学び、社会適応能力を高めた。

##### (1) 所生会活動

所生会は毎月末の木曜日に行い、月毎に、司会・出席・衛生・ごみ・戸締まり・花壇の水やり・炊事・トイレのスリッパを揃える係等、また誕生会のプレゼント・お祝いの言葉等の係について、利用者の希望をとって分担を決め、自主的、積極的に自分の係に取り組んだ。

月	活 動 内 容
4	今年度の所生会活動について話し合った。
5	係活動の反省と行事の内容について確認した。(所生会の参加方法についてなど)
6	係活動の反省と行事の内容を確認した。
7	納涼祭でカラオケに参加する人を希望者の中から選考した。
8	係活動の反省と行事の内容を確認した。
9	係活動の反省と行事の内容、慰安旅行について確認した。
10	係活動の反省と行事の内容を確認した。
11	係活動の反省と行事の内容を確認した。
12	係活動の反省と行事の内容を確認した。
1	係活動の反省と行事の内容を確認した。
2	係活動の反省と行事の内容を確認した。
3	一年間の反省と来年度の所生会、誕生会用プレゼントについて話し合った。

## (2) 実修行事

次のとおり、利用者のレクリエーションを中心に行事を実施した。各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし社会性の向上に努めた。

実施日	行事	場所	参加者	内容
4月1日	開所記念式	当施設	利用者 33名	二橋 寛理事長を迎え、開所記念式を行った。
4月4日	お花見	船明ダム周辺及び花桃の里	利用者 33名	秋葉ダムで桜見物をし、花桃の里で買い物等をして楽しんだ。
4月29日	ハイキング	赤塚山公園	利用者 32名	赤塚山公園でグループごとに分かれてハイキングを楽しんだ。
6月24日	浜北合同スポーツ交流会	浜北グリーンアリーナ	利用者 33名	浜北区内の7施設の交流の場、協調性を養う場とし積極的に取り組んだ。
8月6日	納涼祭	授産所	利用者 29名 来賓外 113名 保護者 21名	授産所と共同で夕方の4時から6時までの2時間、歌や踊り、模擬店、そして歌謡ショーを行い、来賓や近隣の大勢の人達と楽しいひと時を過ごした。
9月1日	総合防災訓練	当施設	利用者 33名	警戒宣言発令を想定し、保護者へは連絡網による訓練を実施した。
9月24日	鉄板焼き大会	日本ロック本社	利用者 28名 保護者 15名	日本ロック様のご厚意で、鉄板焼き大会に招待された。
9月29～30日	慰安旅行	三重 方面	利用者 29名 保護者 12名	1日目は伊勢神宮とミキモト真珠島を見学し夜は鳥羽のホテルで宴会を開いた。2日目は鳥羽水族館や二見興玉神社を見学し、たくさんお土産等を買って楽しんだ。
11月13日	ふれあい広場	グリーンアリーナ	利用者 30名 保護者 16名	会場にて、保護者の協力を得ながら食品・物品等の販売を行った。
12月4日	地域防災訓練	各地域	利用者 4名	各地域で行われる防災訓練に保護者と一緒に参加するよう要請した。
12月9日	地域奉仕作業	当施設周辺	利用者 31名	金原用水沿いの草刈りと施設敷地内等の除草作業を行った。
12月16日	もちつき大会 大掃除	授産所 サンステップ	利用者 31名 保護者 17名	授産所と合同で利用者の殆どが餅つきを体験し、来賓や保護者と共につきたての餅と豚汁を会食した。その後、一年の煤払いとして施設内の大掃除をした。
12月23日	クリスマス会	当施設	利用者 31名	自分でデコレーションしたケーキを食べて楽しい時間を過ごした。
12月28日	慰労会	当施設	利用者 31名	1年間の労をねぎらってゲーム等を楽しんだ後、少し奮発した昼食会を開いた。
1月5日	新年会	当施設	利用者 31名	仕事始めの式と作業後、昼食は各自で希望を取った祝い弁当を食べ、利用者に新しい年の抱負を述べてもらった。
2月3日	豆まき会	当施設	利用者 31名	簡単なゲームを行った後、年男・年女の利用者さんによる豆まきし、一年の邪気払いと無病息災を祈った。
3月17日	イチゴ狩り	ブラウンクルー	利用者 32名	東区にあるイチゴ農園「ブラウンクルー」でイチゴ狩りをし、たくさんお土産を買って楽しんだ。

### 3. 作業活動

協力企業から受託した作業を就労移行支援、就労継続支援B型の作業班で分担、生産した。

各班とも取引業者との信頼関係の強化に努め、治工具の改良考案、作業方法の改善、作業室の整備等によって生産性の向上も図りつつ支給工賃の確保増額に努めた。

就労移行支援班では、能力の伸長を図るとともに製品の品質や生産力の向上が、就労に必要であることを理解させ、品質管理・納期の厳守の徹底を図った。火・金は作業時間を30分延長し、一般就労への自覚を促した。また、実習等にも積極的に参加した。

就労継続支援B型班は福祉的就労の場として、5Sに取り組み工賃のアップを目指した。

#### (1) 作業分担と作業種目

品質確保のため、担当職員・利用者の異動をできるだけ少なくして、作業班体制を組んだ。

ア 就労移行支援 (生産高 単位:円)

班	利用者数	作業種目	(月平均)
1	5	農機具コンバインセンサースイッチ組立	243,839
		大五運送(箱詰め等)、物品販売等	27,040

イ 就労継続支援B (生産高 単位:円)

班	利用者数	作業種目	(月平均)
2	5	農機具コンバインセンサースイッチ組立 建設用スイッチの端子差し込み	135,526
4・5	11	農機具用小型照光スイッチ組立 矢崎3軸アッシー	386,870
3・6	11	農機具用大型照光・操作スイッチ組立 自動車ブレーキスイッチ組立 自動車・建設用機械等のターミナル差し込み	344,849
		KPI作業、物品販売、除草作業等	70,030

#### (2) 生産活動業者別収入状況

ア 就労移行支援 (単位:円)

月	日本ロック	大五運送	物品販売等	その他	合計
4	288,632				288,632
5	361,004	9,000			370,004
6	243,580	7,500			251,080
7	273,032				273,032
8	238,121				238,121
9	160,094	10,000			170,094
10	207,561	55,900			263,461
11	245,034	50,080	45,200		340,314
12	161,793	91,486	12,155		265,434
1	202,598	20,664			223,262
2	222,993	22,500			245,493
3	321,623				321,623
合計	2,926,065	267,130	57,355		3,250,550

## イ 就労継続支援B

(単位:円)

月	日本ロック	K P I	草刈り	矢崎エネルギー	物品販売等	合 計
4	955,963	2,400			129,400	1,087,763
5	707,937				49,000	756,937
6	917,280				44,000	961,280
7	936,714				22,000	958,714
8	740,219				38,000	778,219
9	805,904				24,000	829,904
10	865,218				18,000	883,218
11	774,963				20,000	794,963
12	638,238				49,145	687,383
1	770,415			30,101	3,840	804,356
2	810,458		420,000	204,691	6,580	1,441,729
3	1,024,706			224,140	14,000	1,262,846
合計	9,948,015	2,400	420,000	458,932	417,965	11,247,312

## (3) 月別作業収入と工賃支給状況

## ア 就労移行支援

(単位:円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	288,632	125,920	23,890	19,110	21,000	22	99.0
	5	370,004	126,040	23,570	18,710	21,000	20	95.0
	6	251,080	125,950	22,540	19,720	21,000	22	102.0
	7	273,032	125,960	22,940	19,190	21,000	21	103.0
	8	238,121	126,000	24,390	17,110	21,000	21	96.0
	9	170,094	125,990	24,110	16,110	21,000	22	90.5
	10	263,461	105,020	23,180	17,690	21,000	22	103.5
	11	340,314	105,020	22,380	17,870	21,000	22	105.5
	12	265,434	105,000	22,380	18,310	21,000	20	81.5
	1	223,262	125,010	32,110	12,590	25,000	20	95.0
	2	245,493	125,100	29,790	14,310	25,000	20	100.5
	3	321,623	125,020	26,660	21,710	25,000	23	114.5
	小計	3,250,550	1,446,030				255	1,186.0
	8		賞与 60,000	11,100	8,500	10,000		
	12		賞与 50,000	12,000	7,600	10,000		
	3		一時金 65,000	16,100	9,000	13,000		
小計			175,000					
合計		3,250,550	1,621,030			297,000	255	1,186.0

(註) 年間の1人当たり平均工賃額は賞与を含めると297,000円であり、月額割にすると平均24,750円(中途退所者を含めると24,560円)であった。

## イ 就労継続支援B

(単位:円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	1,087,763	567,000	29,490	12,150	21,000	22	96.0
	5	756,937	567,000	29,790	12,270	21,000	20	91.0
	6	961,280	567,000	29,470	12,140	21,000	22	100.5
	7	958,714	567,000	30,130	12,320	21,000	21	100.0
	8	778,219	567,000	28,310	12,470	21,000	21	92.0
	9	829,904	567,000	30,430	12,710	21,000	22	88.5
	10	883,218	567,000	28,640	12,130	21,000	22	101.0
	11	794,963	567,010	29,820	12,260	21,000	22	102.5
	12	687,383	567,000	30,270	12,880	21,000	20	80.5
	1	804,355	675,010	37,230	14,890	25,000	20	92.5
	2	1,021,730	675,000	37,980	14,600	25,000	20	99.0
	3	1,682,846	675,010	35,370	14,780	25,000	23	110.5
	小計	11,247,312	7,128,030				255	1,154.0
	8		賞与 270,000	17,000	4,400	10,000		
	12		賞与 270,000	16,900	4,500	10,000		
	3		一時金 351,000	22,500	5,800	13,000		
	小計		891,000					
合計		11,247,312	8,019,030			297,000	255	1,154.0

(註) 年間の1人当たり平均工賃額は賞与を含めると297,000円であり、月額割にすると平均24,750円であった。

## (4) 就労支援会計収支状況

(単位:円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
1. 利用者工賃等配分額	9,640,060	1. 就労支援事業収入	14,497,862
(1) 利用者工賃	8,574,060	(1) 受託収入	13,602,542
(2) 利用者賞与	1,066,000	(2) 草刈り等	420,000
		(3) 物品販売等	475,320
2. 必要経費	4,855,276	(4) その他の事業収入	0
3. 積立金積立	0		
(1) 工賃変動積立預金	0		
(2) 設備等整備積立金	0		
4. 次年度繰越金	2,526		
合 計	14,497,862	合 計	14,497,862

## (5) 配分率、経费率及び繰越率

(単位:円、%)

総収入	利用者工賃等配分額	必要経費	次年度繰越金	配分率	経费率
14,497,862	9,640,060	4,855,276	2,526	66.49%	33.49%

#### 4. 体育実施状況

利用者の健康な生活を維持し、体力の維持・強化のために朝礼後の体操や、作業中のストレッチ、定時のジョギング及び体育的行事（野外スポーツ、水泳）を計画的に実施した。

##### (1) 体力作りとストレッチ

項目	日時	内容
ラジオ体操	8:40 ~ 8:45	ラジオ体操第一を始業前の準備運動を兼ねて全員で実施
ストレッチ	10:25~10:30 (毎日)	それぞれの作業の持ち場で業間体操として手・足・首・腰・胴を中心に20秒間同じ姿勢を保つストレッチを実施した。
体操	15:15~15:45 B型(月~金) 就労移行 (月・水)	ジョギングや歩行訓練を中心としたグループと機能訓練を行うグループに分かれ、それぞれの心身の状況に合わせた体力づくりを実施した。また、雨天時は地域交流スペースでストレッチや音楽に合わせてダンス(踊り)等を行った。

##### (2) 体育的行事

項目	日時	内容
野外スポーツ	13:00~15:30 (年5回)	バスで森林公園まで移動し3班に分けウォーキングや散策を実施した。(11, 12, 1, 2, 3月)
水泳訓練	13:00~15:30 (年6回)	浜松市浜北温水プールを利用し、水中歩行と水泳指導(ペンギン村のスタッフによる指導)を実施した。(4, 5, 6, 7, 9, 10月)

#### 5. 保健衛生指導

##### (1) 健康管理

毎月、身長・体重・血圧・体脂肪の測定を実施して日常の健康管理の目安とし、昼食後の歯磨き、作業後のうがい・手洗いを毎日の習慣とした。

定期健康診断は春に血液・尿検査、秋にX線・尿検査を実施し、嘱託医による内科検診保護者に掛かりつけの医師による再診を助言した。

2月と3月にはブラッシング指導を実施し、歯科衛生士による歯茎のチェックと正しい歯ブラシの使い方指導を受けた。虫歯や歯周病のある人には通院治療を助言した。

##### ア 健診実施状況

区分	実施日	人数	内容
血液検査	4月6日	30人	貧血、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸
尿検査	4月6日 10月5日	30人 32人	蛋白、糖、潜血
X線検査	9月13日	27人	胸部X線間接撮影
嘱託医による内科検診	4月20日 8月24日 12月7日	30人 33人 31人	問診、聴打診、血圧
歯科健診	10月20日	32人	浜松市による施設歯科健康診査

##### イ 健康診断結果(重複あり、単位:人)

区分	男	女	計
血球計数	6	1	7
糖代謝	2	1	3
肝機能検査	1	2	3
脂質代謝	9	7	16
腎機能	5	2	7
尿定性検査	3	0	3
計	26	13	39

ウ ブラッシング指導実施状況

実施日	人 数	内 容
2月15日	利用者 11名	愛護協会T B I 記録表のチェックとブラッシング指導
2月22日	利用者 10名 保護者 6名	愛護協会T B I 記録表のチェックとブラッシング指導
2月24日	利用者 11名 保護者 9名	愛護協会T B I 記録表のチェックとブラッシング指導

(2) 衛生指導

利用者、職員全員で毎日終業前の15分間で施設内全般の清掃を実施し、清潔な環境保持に努めた。また、作業後やトイレ使用后及び給食前に手洗いを励行し、毎日の習慣とするよう心掛けた。

(3) 感染症予防

インフルエンザ・ノロウィルスの感染予防対策として、登所時及び昼食前に手・指の消毒を行った。冬期(12～3月)は検温を実施し、咳をする利用者にはマスクの着用を促した。

(4) 出欠状況

出欠状況は利用者の心身の状況のバロメーターであり、データをとりながら家庭と協力して出席率を高めるよう努めた。

ア 月別出欠状況

【就労移行支援】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	6	22	132	7	125	94.70
5	6	20	120	11	109	97.98
6	6	22	132	1	131	99.24
7	6	21	126	2	124	98.41
8	6	21	126	11	115	91.27
9	6	22	132	12	120	90.91
10	5	22	110	4	106	93.36
11	5	22	110	1	109	99.09
12	5	20	100	2	98	98.00
1	7	20	112	21	91	81.25
2	6	20	108	13	95	87.96
3	5	23	115	0	115	100
計	69	255	1,423	85	1,338	94.03

【就労継続支援B型】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	27	22	594	0	594	100
5	27	20	540	2	538	99.63
6	27	22	594	0	594	100
7	27	21	567	10	557	98.24
8	27	21	567	7	560	98.77
9	27	22	594	15	579	97.47
10	27	22	594	3	591	99.49
11	27	22	594	6	588	98.99
12	27	20	540	11	529	97.96
1	27	20	540	9	531	98.33
2	27	20	540	20	520	96.30
3	27	23	621	4	617	99.36
計	324	255	6,885	87	6,798	98.74

## イ 月別皆勤者の状況

年間を通じての皆勤者（無欠席・無遅刻・無早退）は男子4名で、女子は0名。

精勤者（欠席、遅刻、早退合わせて3回以内）は男子2名、女子7名の計9名であった。

### 【就労移行支援】

(単位:人、%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)
4	6	4	66.67	10	5	3	60.00
5	6	2	33.33	11	5	4	80.00
6	6	5	83.33	12	5	3	60.00
7	6	4	66.67	1	7	4	57.14
8	6	2	33.33	2	6	5	83.33
9	6	3	50.00	3	5	5	100
				平均	5.75	3.66	63.77

### 【就労継続支援B】

(単位:人、%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)
4	27	27	100	10	27	25	92.59
5	27	26	96.30	11	27	24	88.89
6	27	27	100	12	27	22	81.48
7	27	22	81.48	1	27	22	81.48
8	27	21	77.78	2	27	21	77.78
9	27	22	81.48	3	27	23	85.19
				平均	27.00	23.50	87.04

## 6. 交通安全指導

浜北署の交通安全指導員の協力を得て講話や実際の道路上での実地指導を受けた。また、指導員による実地指導も行い、より実際に即した交通安全指導を目指した。

実施日	指導者	内容
4月30日	当施設職員	ゴールデンウィークの連休前ということで、利用者の交通安全への意識向上のため浜北警察署推薦のDVDを視聴し、連休中の事故防止に努めた。
8月5日	おうちCO-OP職員	夏季休暇を迎えるに当たり、おうちCO-OP職員による交通安全教室を開いた。①車両の死角の確認②シートベルトの重要性についてと交通ルールクイズを行いながら交通安全に対する意識を高め、休暇中の事故防止を図った。
12月27日	交通安全指導員	年末年始の休暇を迎えるに当たり、浜北警察署の交通安全指導員から指導を受けることで、利用者の事故防止の意識を高め、休暇中の交通安全に努めた。

## 7. 災害防止対策

火災と地震を交互に想定し、防災訓練を毎月実施した。通報訓練、帰宅訓練、地域防災訓練への家族ぐるみの参加の呼びかけ等も行い、防災指導に努めた。また、常に防災設備の自主点検を実施し、防災組織、緊急連絡網の確認を行い、連絡網を使った連絡訓練も実施した。

月別の防災訓練の実施状況は次表のとおりである。

【防災訓練実施状況】

実施日	訓練種目	災害発生の想定及び対応					
		参加人数	時刻	火点	状況	避難経路・手順等	留意点
4月26日	火災通報	利用者 職員 その他	9	17:00		利用者帰宅後、各職員の受け持ち部所より出火したことを想定し、「火災発生」の発声及び施設長への報告通報訓練を実施した。一斉放送による避難誘導の指示の確認と消火班の行動確認等を実施した。	
5月24日	地震避難	利用者 職員 その他	32 7 4	9:55		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。 効果音が地震と理解させる。大きな声で避難誘導の指示がなされたかの確認。
6月22日	火災避難	利用者 職員 その他	33 9 3	10:00	作業室3	作業中に地震が発生し半田ごてが倒れてアルコールに引火。	机の下に身を隠した。地震が鎮静後火災発生。非常口から外へ出た。 職員の指示が的確に出されているか、避難経路が確保されているかを確認する。歩行困難者の介助の確認。
7月26日	地震避難	利用者 職員 その他	33 8 4	11:30		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。 落下物や転倒危険箇所のチェックをおこなう
8月23日	火災通報避難	利用者 職員 その他	32 11 4	11:00	食堂	食堂のコンセントに埃がたまり出火	火点を避け施設東側より避難するよう指導した。 避難経路の確認。 職員連絡網の確認と通報・連絡の確認。
9月1日	総合防災訓練	利用者 職員 その他	33 10 4	9:00		予知情報のない突発的な大規模地震発生	非常災害時避難誘導要領の手順に従って、保護者への直接引き渡し訓練を実施した。 総合防災訓練の内容に従って行動する。
10月25日	火災避難	利用者 職員 その他	32 10 4	11:45	作業室3	作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。 効果音が地震と理解させる。大きな声で避難誘導の指示がなされたかの確認。
11月1日	地震火災通報消火	利用者 職員 その他	31 7 4	10:25	食堂	休憩時間中に地震が発生し、食堂より出火	安全な場所に身を伏し地震の収まるのを待って落下物に注意し、非常口から火元の食堂を避けて避難を行った。 社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と召集時間の確認。消火訓練も行った。
12月21日	火災通報避難	利用者 職員 その他	31 10 4	11:45	食堂	食堂のコンセントに埃がたまり出火。	火点を避け施設東側より避難するよう指導した。 避難経路の的確な指示を出す。火点に近寄らない。消火訓練と職員の通報装置の使用方法を確認した。
1月18日	地震避難	利用者 職員 その他	30 10 4	13:30		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。 落下物や転倒危険箇所のチェックをおこなう
2月21日	火災避難	利用者 職員 その他	30 9 4	10:00	建物南側の畑	野火による延焼で建物南側に接近	中央廊下を通過して玄関前に避難して、津島神社に移動した。 残留者がいないことを確認する。車椅子利用者の安全介助。水消火器による消火訓練
3月27日	大雨避難帰宅	利用者 職員 その他	30 10 4	9:00		作業開始時に大雨に対する警報が発令される。	大雨警報が発令されたことを伝え、食堂に全員避難。状況を確認し、保護者への引き渡し訓練を行った。 利用者の居場所や行動に注意し、荷物の持ち出しがスムーズに出来るよう、利用者の見守りを行う。

8. 家庭との連携

家庭との連携を密にするため、次のとおり事業を実施した。保護者の来所を促し、協力して利用者の支援にあたるよう努めた。

項目	期間	内容
個別面談	随時	状況に応じ随時個別に面談し、相談にのるよう努めた。
モニタリング	就労移行 6, 9, 12, 3月 就労継続B 9, 3月	個別に時間設定をし、保護者同席により個別支援計画に基づいた目標を評価し、必要に応じて見直し又は、変更を実施し、施設での作業や生活の様子、また家庭生活等の情報交換も行った。

連絡帳	随 時	必要に応じて連絡帳により、家庭との連絡を密にするよう努めた。
サンステップ通信等	毎月1回 他 随 時	「サンステップ通信」を発行し、月の予定等を伝えた。また、行事や会合等の事務連絡を随時行った。
保護者会		4月は定例総会を行い、5、7、9、11、1、3月に定例会、4月に臨時の役員会をそれぞれ実施した。その他、施設行事への協力として納涼祭(54名)、慰安旅行(33名)、もちつき大会・大掃除(47名)の外、ふれあい広場各種スポーツ大会等へも参加した。

## 9. 地域交流

### (1) ボランティアの受け入れ

#### ア 水泳訓練

4、5、6、7、9、10月の各月1回2名のペンギン村スタッフを水泳訓練補助員として受け入れた。(※ペンギン村のスタッフは、有償ボランティア)

#### イ 絵手紙教室(地域交流スペース)

月	回数	延べ人数	参 加 者 (講師)	内 容
5	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	野菜を描く
6	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	梅雨見舞いを描く
7	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	暑中見舞いを描く
9	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	秋の花を描く
10	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	木の葉を描く
12	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	年賀状を描く
1	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	節分を描く
2	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	雛祭りを描く
3	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	春の花を描く
計	9	18名		

※講師は、有償ボランティア

### (2) 実習生徒の受け入れ

実 施 期 間	学 校 名	参 加 者	人数
6月6日～6月10日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1名
6月13日～6月17日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1名
10月12日～10月18日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1名
10月24日～10月28日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1名
11月9日～11月11日の3日間	県立浜松特別支援学校	高等部1年	1名

### (3) 就労アセスメントの受入

実 施 期 間	学 校 名	実施者	人数
1月16日～1月27日の10日間	県立浜松特別支援学校	高等部3年	1名
1月30日～2月10日の10日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1名

### (4) 体験実習

実習期間	参 加 者	内 容	人数
8月18日	浜北特別支援学校高等部1年	体験実習	1名
8月29日	浜北特別支援学校高等部1年	体験実習	1名
3月27日	浜北特別支援学校高等部1年	体験実習	1名

(5) 作業実習の受け入れ

担任の引率によって、下記の発達支援学級等の生徒の作業実習を受け入れた。

ア 浜松市立浜北北部中学校発達支援学級生徒      イ 浜松市立浜松西部中学校発達支援学級生徒

月	回数	延べ人数	内 容
6	2	6人	電装部品の組立
10	1	2人	〃
計	3	8人	

月	回数	延べ人数	内 容
6	2	6人	電装部品の組立
計	2	6人	

(6) 体験学習等の受け入れ

総合的な学習の時間における体験学習の場として受け入れた。

職場体験学習

期 間	学 校 名	人 数	内 容
8月 8日	浜名中学校 (夏休みボランティア)	2名	作業補助
8月 9～12日	浜名中学校 (夏休みボランティア)	1名	作業補助
10月 11日	浜松市立浜名中学校 (発達支援学級)	3名	作業体験
10月 18～19日	浜松市立北浜中学校 (発達支援学級)	2名	作業体験

(7) 職員研修等の受け入れ

ア 社会福祉援助技術現場実習

実 施 期 間	参 加 者	人 数
7月25日～ 8月 9日	浜松学院大学 4年生	1名

イ 教職員の体験研修

実 施 期 間	学 校 名	人 数
8月10日	県立浜北特別支援学校	1名

(8) 地域奉仕活動

12月9日の障害者の日にちなみ、近隣の環境整備に協力して奉仕作業を実施した。

実 施 日	事 業 名	参 加 者	内 容
12月9日	地域奉仕活動	利用者 30名 職 員 9名	金原用水沿いの草刈り及び施設周辺の除草作業、また頻繁に利用している遠鉄芝本駅トイレの清掃を行った。

10. 各種会議

施設内会議を下記のとおり実施した。

会 議	実施 (曜) 日	会 議	実施 (曜) 日
職員打ち合わせ会	毎朝	支援部会議	第四以外の木曜日
職員会議	第四木曜日	ケース会議	第四以外の木曜日

## 11. 職員研修

以下の研修に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
5月18日	西部施設連絡会5月研修	浜松市	西部施設連絡会	支援員1
6月3日	社福法人施設指導監査実施説明会	浜松市	浜松市	支援員1
7月7～8日	全国セルフ総合研究大会三重大会	四日市市	全国セルフ協	サビ管1
7月12日	西部施設連絡会7月研修	掛川市	西部施設連絡会	支援員1
7月15～17日	職場適応援助者養成研修(前半)	静岡市	静岡県	支援員1
7月28～30日	職場適応援助者養成研修(後半)	浜松市	静岡県	支援員1
8月27日	知的障害者の「就労を考える」サミット2016	静岡市	県セルフ協	支援員1
9月13日	西部施設連絡会9月研修	磐田市	西部施設連絡会	支援員1
9月15～16日	東海地区施設長会	沼津市	東海地区知的障害者福祉協会	施設長1
9月25日	発達医療講演会(野田聖子氏)	浜松市	浜松市社会福祉事業団	施設長1 支援員1
10月20～21日	生産活動・就労支援部会研究集会	静岡市	県知的障害者福祉協会	施設長1
11月10日	総合消防訓練指導会	浜松市	浜松市防災協会	支援員1
11月14日	就労支援事業会計講座	静岡市	県社協	支援員1
11月24日	西部施設連絡会11月研修会	焼津市	西部施設連絡会	施設長1 支援員1
11月25日	年末調整セミナー	東京都	応研(株)	支援員1
11月27日	高齢者・障害者虐待防止講演会(香山リカ氏)	浜松市	浜松市	サビ管1 支援員2
11月28日	社会福祉法人制度改革研修	静岡市	経営協	理事長1 施設長1
11月29日	関東セルフ研修会	東京都	県セルフ協	サビ管1
12月7日	地域課題検討委員会研修	浜松市	浜北自立支援連絡会	サビ管1
2月10日	県セルフ協研修会	静岡市	県セルフ協	施設長1
2月15日	サビ管資質向上研修	浜松市	浜松市施設連絡協議会	支援員1
2月16日	西部施設連絡会2月研修	浜松市	西部施設連絡会	支援員1
2月17日	地域課題検討委員会研修	浜松市	浜北自立支援連絡会	サビ管1
2月23～24日	全国社会就労センター長会	横浜市	全国セルフ協	施設長1
3月1日	児童・障害部会研修	浜松市	浜松市施設連絡協議会	支援員1
3月2日	社会福祉施設運営管理研修会	静岡市	県社協	施設長1
3月15日	事業者説明会	浜松市	浜松市	施設長1

12. 利用者の状況

(1) 入退所状況 (H28/4.1~H29/3.31)

(在籍人数は1日現在、単位:人)

区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
退所	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
現員	男	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10
在籍	計	33	33	33	33	33	33	32	32	32	33	32	32

(註) 10月の男子1名は、仕事内容が合わず別の就労移行事業所を利用するため退所した。

\* 1月の男女1名は、特別支援学校から就労アセスメントのため暫定入所し男子1名は同月退所し、女子1名は2月に退所した。(期間は、10日間であった。)

(2) 利用者の年齢

平成29年3月31日現在、単位:人

年 令	男 子	女 子	計
15~19歳	3	0	3
20~29歳	8	3	11
30~39歳	4	4	8
40~49歳	5	1	6
50歳以上	2	2	4
計	22	10	32

※平均年齢 男子33.65歳 女子37.17歳 全体34.76歳

(3) 入所期間

平成29年3月31日現在、単位:人

期 間	男	女	計
1年未満	3	1	4
1年以上~3年未満	2	0	2
3年以上~5年未満	17	9	26
5年以上~7年未満	0	0	0
7年以上~9年未満	0	0	0
9年以上~11年未満	0	0	0
11年以上~13年未満	0	0	0
13年以上~15年未満	0	0	0
15年以上~18年未満	0	0	0
18年以上~	0	0	0
計	22	10	32

※平均入所期間 男子2.59年 女子2.78年 全体2.59年

(4) 入所直前の状況

平成29年3月31日現在、単位:人

区 分	男	女	計
特別支援学校等	16	5	21
作業学級、作業所等	1	0	1
児童、成人施設	2	4	6
就労、家業の手伝い、在宅	3	1	4
計	22	10	32

(註) 就職経験者は、男子2人 女子2人 計4人である。

## (5) 通所方法

平成 29 年 3 月 31 日現在、単位：人

区 分	通所バス	電 車	自転車	バ ス	徒 歩	自家用車	計
男	4	15	1	2	1	5	28
女	2	8	1	2	3	3	19
計	6	23	2	4	4	8	47

(註) 重複利用者を含む

## (6) 手帳の所持

## ア 療育手帳

平成 29 年 3 月 31 日現在、単位：人

区 分	A	B	なし	計
男 子	11	11	0	22
女 子	5	4	1	10
計	16	15	1	32

## イ 身体障害者手帳

平成 29 年 3 月 31 日現在、単位：人

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	6 級	計
男 子	0	2	0	1	0	3
女 子	0	0	0	2	0	2
計	0	2	0	3	0	5

## ウ 障害福祉サービス受給者証

平成 29 年 3 月 31 日現在、単位：人

区 分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男 子	13	1	1	4	3	0	0	22
女 子	4	0	2	3	1	0	0	10
計	17	1	3	7	4	0	0	32

## (7) 心身障害の併有状況

平成 29 年 3 月 31 日現在、単位：人

区 分	男 子	女 子	計
四肢体幹機能に問題のある人	3	2	5
てんかん治療を受けている人	3	1	4
現在精神神経科に通院し投薬を受けている人	2	4	6
情緒不安定・その他特異な行動のある人	1	2	3
言語に問題のある人	7	0	7
視力に問題のある人	6	1	7
聴力に問題のある人	1	1	2
ダウン症	5	1	6
内部（心臓、呼吸器）障害のある人	2	2	4
計	30	14	44

(註) 重複障害を含む

## 13. 就労移行支援実施状況

## (1) 就職実績

- ・本年度なし

## (2) 就職者の事前支援状況

- ・本年度なし

#### IV. 指定障害福祉サービス事業所すだち 事業報告

##### (1) 共同生活住居「いぶき」

4月

1日 利用者 4名 M. S、 S. S、 T. Y、 K. K  
世話人 I. K、 H. H、 T. Y、 M. I  
21日 T. Y 誕生日 72歳

5月

6日 M. S 誕生日 54歳

7月

7日 七夕祭り  
11日 K. K 誕生日 30歳

8月

6日 たちばな会 納涼祭参加  
13～17日 夏休み  
24日 防災訓練

9月

26日

10月

29日 手をつなぐ育成会研修旅行 (3名)

11月

4日 防災訓練実施  
13日 ふれあい広場参加

12月

16日 たちばな会 餅つき大会参加  
24日 クリスマス会・大掃除  
29～31日 年末休暇

1月

1～4日 年始休暇  
13日 S. S 誕生日 60歳

2月

3日 節分 (豆まき)

3月

3日 ひな祭り

(2) 共同生活住居「すだち」

4月

1日 利用者 4名 K. K、 M. M、 N. Y、 S. O  
世話人 M. H、 F. A

7日 M. M 誕生日 43歳

6月

28日 K. K 誕生日 44歳

7月

7日 七夕

8月

6日 たちばな授産所 納涼祭参加

10日 S. O 誕生日 44歳

13～17日 夏期休暇

24日 防災訓練実施

10月 29日 手をつなぐ育成会研修旅行 (4名)

11月

5日 防災訓練実施

13日 ふれあい広場参加

12月

16日 たちばな会 もちつき大会参加

24日 クリスマス会

29～31日 年末休暇

1月

1～4日 年始休暇

2月

3日 節分 (豆まき)

3月

3日 ひな祭り

29日 N. Y 誕生日 22歳

V. 社会福祉法人たちばな会 事業報告の附属明細書

「記載事項」

該当事項はありません。